

三重県鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

Ⅰ 概況

1. 生産の動き

平成6年の県内鉱工業生産指数の年平均は、87.8(平成2年=100)で(年指数については、原指数による。以下同じ。)、対前年比△3.5%の減少となった。四半期ごとの推移についてみると(四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。)
1～3月期91.4(対前期比5.9%増)、4～6月期85.9(同6.0%減)、7～9月期87.0(同1.2%増)、10～12月期86.7(同0.3%減)と増減を繰り返した。(表1、図1)

これを業種別に対前年比でみると、石油・石炭製品工業3.1%、金属製品工業3.0%、電気機械工業0.9%、化学工業0.7%、非鉄金属工業0.4%とそれぞれ増加した。一方、輸送機械工業△13.4%、窯業・土石製品工業△8.0%、食料品工業△6.8%、鉄鋼業△6.7%、プラスチック製品工業△3.6%、一般機械工業△2.1%、繊維工業△1.1%とそれぞれ減少した。(表3)

また、財別に対前年比でみると、その他用生産財4.5%、鉱工業用生産財0.4%とそれぞれ増加した。一方、耐久消費財△14.2%、資本財△5.6%、非耐久消費財△5.4%、建設財△3.5%とそれぞれ減少した。(表5)

2. 生産者製品在庫の動き

平成6年の県内鉱工業生産者製品在庫指数(以下「在庫指数」という。)の年平均は、102.5(平成2年=100)で、対前年比△3.4%の減少となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期107.0(対前期比0.6%減)、4～6月期107.2(同0.3%増)、7～9月期101.3(同5.6%減)、10～12月期94.5(同6.6%減)と一時期増加したが、再び減少した。(表2、図1)

これを業種別に対前年比でみると、電気機械工業11.5%、石油・石炭製品工業8.7%、繊維工業4.5%、パルプ・紙・紙加工品工業3.6%、プラスチック製品工業1.7%とそれぞれ増加した。一方、金属製品工業△22.4%、一般機械工業△14.7%、その他工業△12.2%、鉄鋼業△11.2%、非鉄金属工業△11.1%、食料品工業△9.0%、窯業・土石製品工業△8.9%、化学工業△1.4%、輸送機械工業△0.8%とそれぞれ減少した。(表4)

また、財別に対前年比でみると、非耐久消費財が7.8%、その他用生産財3.8%、耐久消費財0.9%とそれぞれ増加した。一方、資本財が△14.8%、建設財△3.8%、鉱工業用生産財△2.4%とそれぞれ減少した。(表6)

(参考) 全国の概況

平成6年の鉱工業生産は、前年比0.9%と3年ぶりの上昇となった。これを四半期でみると1～3月期に前期比1.4%と4期ぶりに上昇に転じた後、4～6月期同1.2%、7～9月期同1.4%、10～12月期同2.1%と4期連続して上昇を続けた。

また、在庫は、製造工業15業種中11業種が低下し、前年末比△4.8%と2年連続の低下となった。

(通商産業大臣官房調査統計部編「クォーターIIP 平成6年の生産動向(年間回顧)より抜粋)